



校長先生プレゼンツ

＜中心人物とはどういう人物？＞

登場人物の中で、最も活躍する人物を「中心人物（主人公）」といいます。劇をやる時に中心人物になれると、セリフがたくさんあってうれしいですね。さて、中心人物とは、どういう人物なのでしょうか。

それは、

物語のやま場で、心や行動が「最も大きく変化する」人物

のことを言います。低学年の人で、もし「???'という人がいたら、また学校に来た時に先生に教えてもらってください。

こうすると、「やま場」についても同時に知らないと、この先が分からないですね。なお、「やま場」については、高学年になって学習する内容なので、低学年はもちろん、中学年も少しむずかしいかもしれません。でも、いつか学習することなので、まずはがんばってついてきてください。

やま場とは中心人物によって、お話が大きく変わるところです。例えば低学年の「お手紙」では、最初「ふしあわせ」と言っていたがまくんですが、最後のほうは「しあわせ」と言っています。大きな変化です。どこから変わったのでしょうか。その境目が「やま場」です。この大きな変化をした人物はがまくんです。したがって、この物語では中心人物は、かえるくんではなく「がまくん」です。

同じく、かさこじぞうでは、おじいさんとおばあさんのどちらかが中心人物です（おじぞうさんではありませんよ）。どちらでしょう。大きな変化をした方ですね。……。そうです、大きな変化をしたのは、大切な売り物のかさをどうしたことかおじぞうさんにかぶせてしまったおじいさんです。ですから、中心人物は「おじいさん」です。

おばあさんは、おじいさんの相手あいてで名脇役めいわきやくなのです。ちなみに、あの雪ゆきの中なかでかさをかぶせているシーンが、このお話はなしの「やま場ば」ということになります。

「やま場ば」とは、本当ほんとうの山いで言うところの頂上ちようじようなので、「中腹ちゆうふく」や「すその」があるのだろうか。……。良い質問よですね。あるのです。このことは、また別の機会べつ きかい、特に

高学年こうがくねんにお話しはなしましょう。

では今日きようのまとめです。

中心人物ちゆうしんじんぶつとは主人公しゆじんこうのこと。物語ものがたりの「やま場ば」で、
心こころの様子ようすや行動こうどうなどが最も大きく変化もつと おお へんかする人物じんぶつのことである。